

子どもたちへ自転車に乗る楽しさや正しい乗り方を伝えたい！

ランニングバイク63台を 寄贈していただきました



この度、杉並区を拠点とする一般社団法人オールキッズバイクジャパン※からランニングバイク（ペダルのない幼児用二輪遊具）63台とヘルメット63個が寄贈され、本日5月7日（水）、杉並区役所にて感謝状の贈呈式を行いました。

「杉並区の子どもたちに、楽しく、安全に二輪車に親しむ機会を提供し、交通事故を減らしたい」との思いを持つオールキッズバイクジャパンより、これまで実施したイベントの収益の一部等を活用してランニングバイクとヘルメットを寄贈していただきました。

区では寄贈されたランニングバイクを、自転車の運転や交通ルールを学ぶことができる杉並児童交通公園に配置し、訪れた子どもたちに貸し出す予定です。また、区立子供園で実施する未就学児向け「じてんしゃゲーム」や子ども・子育てプラザでの活用など、子どもたちに自転車に乗る楽しさを伝えるとともに、正しい乗り方の啓発に取り組み、交通安全の意識向上に努めていきます。



岸本聡子区長は感謝状を手渡し、「今回の寄贈で幼い頃から二輪車に親しみ、乗る楽しさや正しい乗り方を知る機会が増えることは、大変素晴らしいことだと思います。今後、いただいたランニングバイクは、子どもたちのために大切に活用していきます。」とお礼を述べました。

オールキッズバイクジャパン代表理事の蓑田尚典氏は「幼稚園などの施設で子どもたちに二輪車に乗る機会を提供し、楽しさを知ってもらい、安全で正しい乗り方を学ぶ機会を提供するために活動しています。今回の寄贈をきっかけに、杉並区の子どもたちに二輪車の楽しさや安全で正しい乗り方が広がっていくことを心から願っています。」と話されました。

※一般社団法人オールキッズバイクジャパン（<https://allkidsbikejapan.org/>）

「二輪車に安全に乗る方法を教えることにより、日本中のすべての子どもたちが二輪車に乗る喜びを知り、自信を得て安全な操作技術を学び、運動能力の発達につなげることで、交通事故による死亡やケガを減らすこと」を目的として、杉並区を拠点に令和4（2022）年に設立されました。

「全ての子どもに乗る楽しさを」をコンセプトに、各地でランニングバイクの試乗会などのイベントや体育学習プログラムの企画・提供、指導者への教育事業などを実施しています。

【報道機関 問い合わせ先】

都市整備部交通企画担当：03-3312-2111（内線3521）

広報課報道係：03-3312-2111（内線1574）